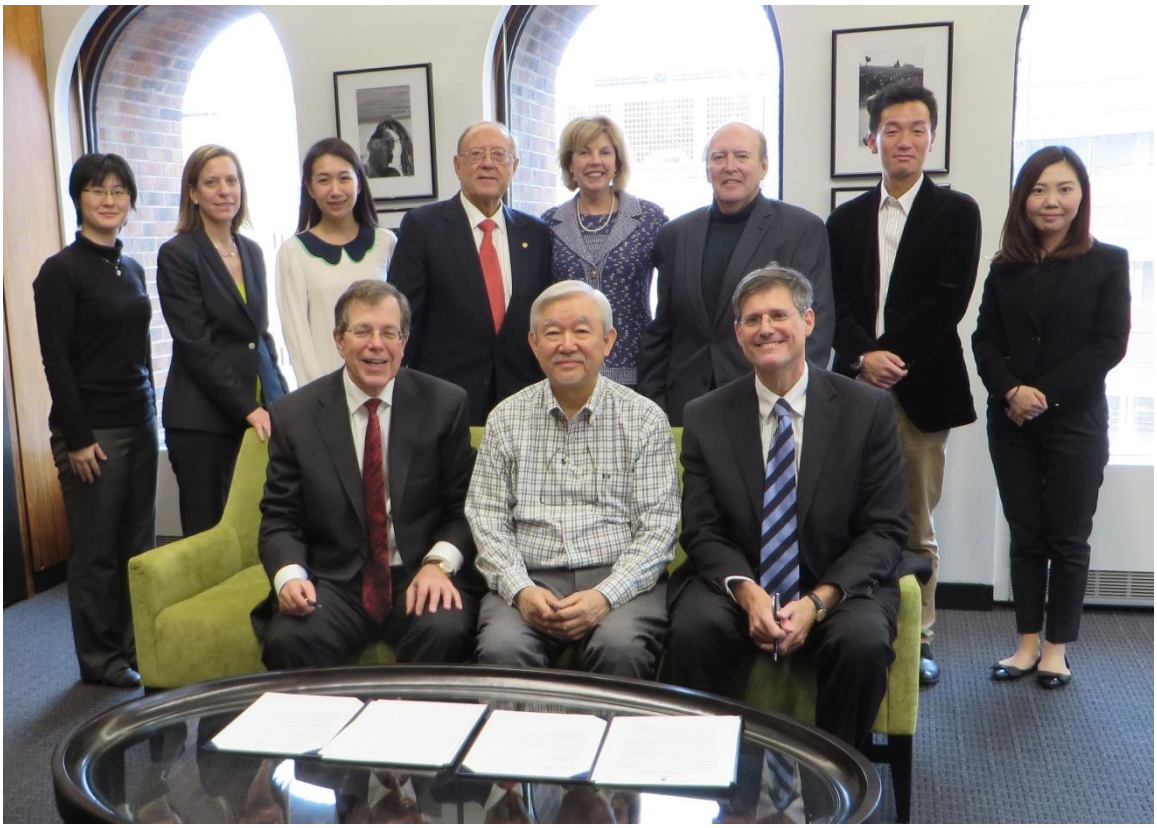
Noguchi Times

NOGUCHI INTERNATIONAL BUSINESS CONFERENCE NEWS Vol. 15　2016.9.20



トーマスジェファーソン大学に於ける寄付ファンド契約の署名捺印式にて

CONTENTS

■第25回NIBC開催内容報告 …… p2
■野口医学研究所縁の地をご紹介する『All About Philadelphia』 …… p3
■パシフィック・パートナーシップ2016 …… p4
■徹底ヘルスチェックのススメ …… p5
■長期に亘る食用活性炭の研究を活かして… …… p6
■NIIBC公式Facebookのご紹介 …… p7
■野口記念インターナショナル画像診断クリニックのご案内 …… p7

第25回NIBC開催内容報告

（NIBC：Noguchi International Business Conference）

2016年7月19日（火）　　於：野口医学研究所　9階会議室

『プロレスラー グレート小鹿　男の生き様』

大日本プロレス 会長
NPO資源を増やす木を植えましょう 理事長

グレート 小鹿

私がプロレスの世界に足を踏み入れたのは20歳の時でした。当時毎週金曜日に放送していた『プロレスアワー』というテレビ番組に釘付けになったことがきっかけです。その後はプロレスに夢中になり、今や私のプロレス人生は54年に到達しました。

この間、仲間達は勿論のこと、全国の方々からも多くの応援をして頂きました。今年で74歳になりましたが、お陰さまで今でも元気に活動させて頂いています。
これまでお世話になった方々に対して何かお返しができないだろうかと考え、設立したのがNPO法人「資源を増やす木を植えましょう」です。自然環境や景観の保全を図る為に植林・植樹等の緑化活動を行うことで、将来、孫やひ孫たちが活躍する世代になった時に、人と自然が共存し豊かな社会で生活できるようにしたいと考えています。

子供たちの未来に夢と希望を与えること。
これが私の目標です。

※グレート小鹿氏との出会いを機に「野口」も植樹に協賛することにしました。

『アメリカの高齢者医療・介護状況』

米国財団法人野口医学研究所 理事
NPO野口医学研究所 専務理事
野口記念インターナショナル画像診断クリニック 理事長

佐藤 俊彦

米国には介護保険制度がないことをご存知でしょうか？米国では75歳ぐらいになるとCCRC（Continuing Care Retirement Community … 継続的にケアサービスを受けられる高齢者達の共同体）に入居します。老いとともに入居形態は変わりますが、その場所は同じコミュニティの中にあり、そこで生を完結するスタイルを取っていることが大変特徴的です。施設の建設には、宗教団体や政府による寄付が大きな役割を果たしており、又、大学を改修してCCRCにすることで、学生ボランティアから支援を受けることが可能になるものなども数多く見られます。
日本版CCRCは都心で溢れる高齢者を地方で受け入れるスタイルを取っていますが、どうしても孤立しやすい環境にあり、オープンなコミュニティとはかけ離れてしまうため、失敗しがちです。地方の一等地にある老舗ホテルがCCRCに業態転換すれば、地方のみならず都心からも客を呼び込むことが出来るようになるでしょう。

介護事業は、介護保険＋自費介護を組み合わせることによって、大きなポテンシャルを持つビジネスモデルに発展する事業です。更に、そこに医療機関を連携させることが大変重要であると考えます。

All About Philadelphia

野口医学研究所ゆかりの地をご紹介

米国財団法人野口医学研究所が本部を置くペンシルバニア州フィラデルフィア市は、独立宣言が為された合衆国誕生の地として有名です。
野口医学研究所と深い関わりのあるフィラデルフィアについて、連載でご紹介していきます。

独立記念館（Independence Hall）

インディペンデンス国立歴史公園の正面には、当時議事堂として使われていた独立記念館が建てられています。

トーマス･ジェファーソン、ジョージ･ワシントン、ベンジャミン･フランクリンらが独立宣言書を起草し、1776年7月4日、正にこの独立記念館の一室で独立宣言が採択されました。又、1787年には合衆国憲法の制定（Constitution）も行われ、特別且つ重要な場所であると言えます。

1979年にユネスコの世界遺産（文化遺産）として登録された建築物でもあり、建国の歴史を間近に感じ取ることができます。

独立記念館

「野口」スタッフも全員大ファン！

地元のソウル(魂・伝統) フード

地元民に愛され続けるフィラデルフィアのソウルフードと言えば、チーズステーキです。細長いパンに炒めた軟らかい牛肉と溶けたチーズを挟み込んだシンプルなサンドウィッチで、好みに応じて、玉ねぎやオリーブ、ペッパーなどをトッピングすることが出来ます。

絶妙な組み合わせを醸し出すこのチーズステーキは、フィラデルフィアを訪れるなら絶対に食べておくべき一品です。

トラックのドライバーが運転しながら片手で頬張る姿は豪快そのものです。

フィラデルフィアチーズステーキ

パシフィック・パートナーシップ 2016

2016年8月4日（木）～8月14日（日）

於：パラオ(Palau Community College・Belau National Hospital・Peleliu Island)

2016年8月4日～14日、NPO野口医学研究所は、防衛省・自衛隊の主宰によるパラオでのパシフィック・パートナーシップ2016に参加しました。佐野潔先生（米財「野口」理事長、NPO「野口」常務理事）を始めとする計3名の医師が現地へ赴き、医療支援活動に協力しましたので、ご報告します。

パシフィック・パートナーシップとは、東南アジア・南太平洋地域の被災地または途上国において、言葉・習慣の異なる多国籍医療チームが、現地で相互コミュニケーションをとりながら医療施設の設営、システム構築、運営を行っていく活動です。

Our Volunteer Story

★林医師と医療支援活動の皆様

★Belau National Hospital　にて診療を行う稲田医師

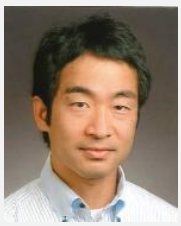
★Peleliu Islandにおける野外診療

★日本の医療チームをまとめる佐野医師

★椅子と基本的な診察器具だけの診察

初めての海外における医療支援活動でしたが、とても貴重な経験になったと実感しています。活動開始当初は、環境が異なるためか体調管理に悩まされることもありましたが、今までの自分自身の臨床経験または教育現場における実践経験を活かしながら、現地で出来ることを精一杯出しきれたのではないかと自己評価しています。
今回の経験を通じて、現地において本当の意味での医療現場のニーズを把握し、その文脈に沿った形で医療支援活動を行うことの難しさを実感することが出来ました。今後も機会があれば海外での医療支援活動に積極的に関わりたいと考えています。

東京大学大学院医学系研究科
医学教育国際研究センター
林　幹雄



リソースの限られた場所で患者に満足してもらえる診療を行うには、英語力は当然ながら、問診と診察から鑑別診断を行う能力、患者・家族へのしっかりとした説明と教育を行う能力が重要だと感じました。特に小児科では、生活習慣と成長発達に関する問診、親の悩み相談、次の健診までに子供に起こりうる変化を説明し助言することなども不可欠です。
今後、パシフィック・パートナーシップにおいて他国の医師と医療活動を共同で行う場合には、彼らと協力し、且つ対等にやっていけるだけの医師としての実力、コミュニケーション能力が必要であると感じました。私は小児集中治療が専門ですが、できる限りGeneralistとしての小児科の知識を常にアップデートするよう心がけ、英語力の向上にも努めたいと思います。

大阪府立母子保険総合医療センター　集中治療科
稲田　雄

徹底ヘルスチェックのススメ

企業に勤めている方には義務付けられている定期健診ですが、皆さん毎年きちんと受診されていますか？「面倒だから」や「忙しいから」といった理由から、実は毎年受診できていないという人も中にはいるのではないでしょうか。
病気は「治療」ではなく「早期発見」と「予防」こそが大切です。今回は、宇都宮セントラルクリニックでの検査について受診者の感想をご紹介します。

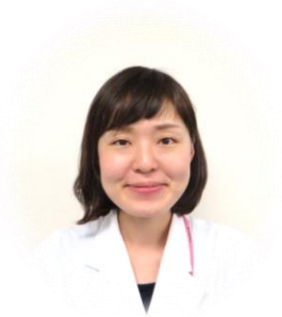
プレミアムドックを受診。ホスピタリティの高さに感動！

先ず、総ての職員の対応が素晴らしいものでした。誰のどのような経験と発想を通して作られたシステムかは分かりませんが、HospitalityとConciergeの精神が隅から隅まで徹底されている感じがしました。

医療法人DIC宇都宮セントラルクリニック

各部門を予め決められた手順に基づいて回りますが、きちんと待機する場所や個室が用意されており、案内係が丁寧、且つ親切に水先案内人を務め、時間に無駄が無く、退屈感や手持ち無沙汰な感じは全くしませんでした。

佐藤俊彦先生は言わずもがな、患者への対応は慈愛に満ちていて、信頼がおけます。



女性外来を受診。心が落ち着く環境に強い安心感。

2日間に亘り骨盤部や乳腺、骨密度、甲状腺機能等、女性特有の疾病に関わる検査を受診しました。

MRIや超音波は受けたことがなかったので、受診前は緊張していましたが、当日スタッフの皆様が親切に対応して下さったので、最後まで安心して検査を受けることが出来ました。

特に、女性の医師による丁寧なカウンセリングは、自分自身の日頃の身体の不調や普段気にしていること等、何でも質問することができ、終わった後、気持ちが楽になったことを覚えています。

今後も定期的に受診し、心身ともにメンテナンスを行ない、意識的に健康維持を図りたいと思います。

宇都宮セントラルクリニック ブレストセンター

健康診断や人間ドックを受診することで、自分の身体の状態を良く知り、自覚症状のない疾病から身を守りましょう。

長年に亘る
食用活性炭の研究を活かして…
（ヘルシーカーボン）

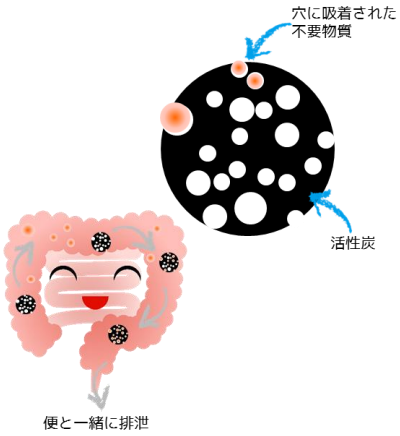
米財「野口」創立者の浅野嘉久が博士号取得のテーマとして長年に亘り研究を続けてきたのが食用活性炭（ヘルシーカーボン）です。食用活性炭を利用して皆様の健康な生活をサポートできればという願いを込めて新たに商品を開発しました。

活性炭は、古来より様々な物質を吸着することで知られています。このことは浅野嘉久の研究でも証明され、防菌防黴学会でも発表をしました。

浅野嘉久　博士論文
『活性炭の生体有効利用に関する研究』

商品のはたらき

1. 活性炭の表面に開いたミクロからマクロまでの無数の穴が体内に入った不要物質を吸着します。
2. 穴に不要物質を吸着した状態で、そのまま便と一緒に排泄します。
3. オリゴ糖、食物繊維の2種類のプレバイオティクス成分が、腸内環境を整える手助けをします。



カラダの中の不要なものを炭ごとスッキリ！

980円（税別）

**10月5日
発売!!**

カラダのおそうじサプリメント
『生物活性炭と食物繊維』

お求めは全国の薬局薬店・ドラッグストアーへ

NIBC公式Facebookのご紹介

2016年8月から**NIBC**（Noguchi International Business Conference: 野口国際ビジネス交流会）のFacebookを開設しました。
開催報告や特典サービスなどの情報をイチ早くお知らせしていきます。

NIBCでは、毎回様々な分野から講師をお呼びして旬の話題をお届けしています。
また、セミナー後は参加者の皆様が自由に名刺交換し積極的に交流して頂ける時間を設けています。

いいね！

新規のビジネスパートナー獲得のきっかけや幅広い業種との交流の場としてご活用頂けますので、是非ご登録下さい。

NOGUCHI TIMES

Noguchi International Business Conference News Vol. 15

発行日　2016年9月20日
発行人　安東 恭助
発行所　米国財団法人野口医学研究所
編　集　〒105-0001　東京都港区虎ノ門1-22-13
電話　03-3501-0130
米国財団法人野口医学研究所 参与会